

でん どう  
青森県の伝統工芸・文化  
きょう ど  
**青森の郷土料理**



**イチおしミニあらかると**

ご当地グルメを通じた「日本最大級のまちおこしイベント」である「B-1 グランプリ」は、実は青森県が発祥の地！2012年の第7回B-1 グランプリでは八戸せんべい汁研究所が、2014年の第9回B-1 グランプリでは十和田バラ焼きゼミナールがゴールドグランプリを獲得しました！

青森県は、地域によって気候や文化、生活環境が異なることから、地域ごとにユニークな食文化が発達してきました。津軽地方は米ともちを主体とした料理、南部地方は雑穀を主体とした料理が多く伝えられてきました。下北地方は粉や雑穀に加えてイモを主体とした料理も多く作られ、沿岸地帯は豊富に水あげされる魚介類や海藻を使った料理が見られます。

主な郷土料理としては、もち米に赤しそやキャベツを入れて発酵させるご飯のつけもの「すしこ」や、大根やにんじん、山菜を細かく刻んでみそやしょう油で味を付ける「けの汁」、南部せんべいをだし汁で煮る「せんべい汁」、ホタテの貝殻を鍋代わりにして、だし汁にホタテなどを加えてみそや溶き卵で煮込む「貝焼きみそ/みそ貝焼き」などが挙げられます。



すしこ



けの汁



せんべい汁



貝焼きみそ

資料：県総合販売戦略課、Amazing AOMORI(県誘客交流課)

# 青森の工芸品



青森県の伝統工芸品「津軽塗」は、弘前を中心とした津軽地方に伝わる堅く優美な外見を持つ塗物です。始まりは江戸時代元禄年間までさかのぼります。

青森県で唯一、国の伝統的工芸品として産業指定されていて、平成29年に本県初の重要無形文化財として技術指定されました。（漆芸分野での指定は人間国宝を除くと輪島塗（石川県）に次いで2例目です。）

また、青森のブナ材をテープ状に加工し、巻き重ねて形を作る工芸品の「ブナコ」は、美しい立体曲線を自在に表現でき、木材使用量も通常の10分の1程度です。ブナコのお盆・茶托・茶器を組み合わせた「Yauatcha Tea Set」はイギリスで賞を獲得し、ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館に永久収蔵されています。

南部菱刺しは、江戸時代に、八戸を中心とする南部地方で生み出されました。当時、農村の女性たちは補強と保温のために麻に木綿糸を刺して、厳しい北国の生活をしのいでいました。この技術が現在まで受け継がれており、麻地以外に木綿地やウール地も用いられ、ネクタイやタペストリーなど新たな製品にもその技術は応用されています。



津軽塗



ブナコ



南部菱刺し

# 祝! 世界遺産登録



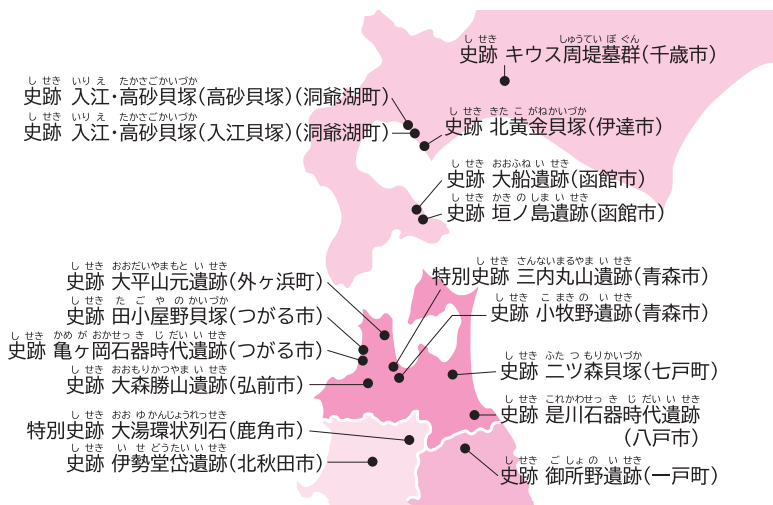
「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、1万年以上もの間、狩りや漁、木の実などを採集しながら、定住（ひとつの場所にとどまって生活）した人々の暮らしや祈り・祭りの様子を伝える文化遺産です。青森県の8遺跡を含む17遺跡で構成されています。

青森県は北海道、岩手県、秋田県と協力しながら世界遺産登録を目指し、2021年7月27日に行われた第44回世界遺産委員会拡大大会で縄文遺跡群が世界遺産（文化遺産）に登録されました。

縄文時代は今から約1万5千年前に始まり、稲作が伝わる約2千4百年前まで1万年以上続きました。人々は、縄で模様を付けた土器や石器を使い、木の実や動物、魚や貝などを食料としながら暮らしていました。

自然に感謝し、自然と共に生きる縄文時代の暮らしには、現代に生きる私たちが学ぶべきことがたくさんあります。人類共通の宝として、北海道・北東北の縄文遺跡群を私たちの手で守り、未来へ伝えていきましょう！

## 北海道・北東北の縄文遺跡群



# 県内の縄文遺跡群

## おおだいやまもと いせき 大平山元遺跡

今から約15000年前



縄文時代の始まりを示す  
遺跡。日本最古の土器が  
見つかった。

## たごやのかいづか 田小屋野貝塚

今から約6000～4000年前



貝塚のあるむらの跡。  
ベンケイ貝製のブレスレ  
ットが生産されたと考え  
られている。

## さんないまるやま いせき 三内丸山遺跡

今から約5900～4200年前



日本最大級の縄文時代の  
むらの跡。土器や石器、土  
偶(土で作った人形)など  
がたくさん見つかり、当時  
の暮らしがよくわかる。

## ふたつ もりかいづか 二ツ森貝塚

今から約5500～4000年前



自然環境の変化を伝  
えるむらの跡。

## こまきの いせき 小牧野遺跡

今から約4000年前



大きな環状列石がある  
祈りと祭りの場。石を縦・  
横に組んで、丸い輪を  
作っている。

## おおもりかつやま いせき 大森勝山遺跡

今から約3000年前



岩木山を臨む祭りの場。  
大きな環状列石が見つ  
かった。

## かめがおかせき じだい いせき 亀ヶ岡石器時代遺跡

今から約3000～2400年前



大規模な墓地の遺跡。  
「しゃこちゃん」でおな  
じみの遮光器土偶が  
見つかった。

## これかわせき じだい いせき 是川石器時代遺跡

今から約3000～2400年前



狩りや漁、採集の暮  
らしを伝えるむらの  
跡。漆が塗られた土  
器やアクセサリーが  
たくさん見つかった。

# 日本初の世界自然遺産 白神山地

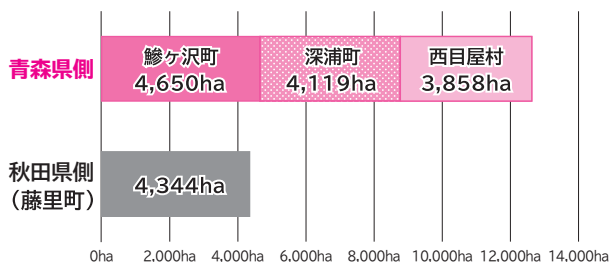


白神山地は、青森県と秋田県にまたがる約13万haにおよぶ広大な山岳地帯で、このうち人の影響をほとんど受けていない原生的なブナ林で占められている約1万7,000haのエリアが、1993年(平成5年)、日本初の世界遺産(自然遺産)として、屋久島とともに登録されました。日本国内の自然遺産は、「白神山地」、「屋久島」、「知床」、「小笠原諸島」、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の5件だけです。

白神山地は都市から遠く離れ、険しい地形で囲まれていることが幸いし、自然の生態系が守られてきました。そのため、ブナを中心にイヌワシ、ツキノワグマ、ニホンカモシカ、アオモリマンテマなど、多種多様な動植物が暮らす生き物たちの楽園となっています。



世界遺産登録面積16,971haのうち  
青森県側が約4分の3を占める！



青森県側はトータルで12,627ha！

★全体に占める割合は74.4%！

★東京ドームで例えると約2,700個分！

白神山地では、星空が美しく見えます。星空が美しく見えるのは、白神山地の山並みが都市部の光を遮り、星が見えにくくなる原因となる人工の光が届きにくいからです。白神山地のある深浦町の星空は、過去に実施された「全国星空継続観察」で日本一に輝いたこともあります。ぜひ一度ご覧ください。



# ピカイチ！青森の木



弘前公園三の丸、緑の相談所中庭にあるソメイヨシノは、幹の周りが5m37cmで、環境省の「巨樹・巨木林データベース」によると単幹のソメイヨシノでは日本一の太さです！

弘前公園は、ソメイヨシノを中心に弘前発祥の八重桜「弘前雪明かり」の原木など52品種約2,600本の桜が植えられ、桜の名所として親しまれています。また、弘前公園のソメイヨシノは、1つの花芽(花を咲かせる芽)から時には7個と多くの花を咲かせるため、花の豊かさが特徴です。



昭和41年に県の木として指定された青森ヒバは、木曽ヒノキ、秋田スギとともに日本三大美林の一つに数えられ、全国の蓄積量の8割以上が青森県にあります。

シロアリや腐れに強いことから、古くから城や神社仏閣などに使用され、弘前城天守をはじめ数多くの建造物に用いられていることが知られています。

白神山地に代表されるブナの蓄積量が全国1位、住宅部材に使われるスギ人工林の面積が全国4位のほか、県南地域に南部アカマツが広く分布するなど、青森県の名前が示すとおり、多種多様な森が県土面積の66%を占めています。

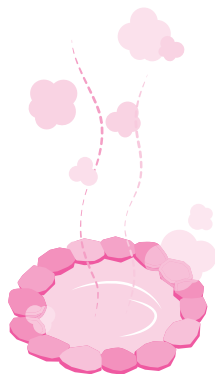
# 温泉いっぱい ん～幸せ！



環境省の温泉利用状況(令和2年3月末日現在)によると、青森県は温泉地数が全国第5位、ゆう出量は全国第4位の温泉の宝庫！

また、青森県の一般公衆浴場数は284ヶ所(令和2年度)で、全国第3位！人口10万人当たりでは23.5ヶ所(平成30年度)とダントツの全国第1位！なんと全国平均の8.4倍です。(※ピカイチデータ100！もご覧ください)

さらに、令和2年家計調査(家計収支編・二人以上の世帯)によると、青森の「温泉・銭湯入浴料購入金額」(1世帯当たり)が全国第1位で、青森県民は温泉が大好きなことが分かります。



## 温泉地数 (か所)

|    |     |     |
|----|-----|-----|
| 1位 | 北海道 | 243 |
| 2位 | 長野県 | 205 |
| 3位 | 新潟県 | 145 |
| 4位 | 福島県 | 136 |
| 5位 | 青森県 | 125 |

## 湧出量 (㍲/分)

|    |      |         |
|----|------|---------|
| 1位 | 大分県  | 294,646 |
| 2位 | 北海道  | 196,902 |
| 3位 | 鹿児島県 | 161,668 |
| 4位 | 青森県  | 146,223 |
| 5位 | 熊本県  | 133,585 |

混浴の大浴場『ヒバ千人風呂』で有名な国民保養温泉地第1号にも指定された「酸ヶ湯温泉」(青森市)、幻想的なランプの灯りの中で入浴を楽しめる「青荷温泉」(黒石市)、波打ち際に露天風呂がある絶景の「不老ふ死温泉」(深浦町)、エメラルドグリーンのお湯が色鮮やかな「新屋温泉」(平川市)、真っ黒なお湯がめずらしい「東北温泉」(東北町)など県内には個性的な温泉がたくさんあります。

※国民保養温泉地・・・環境省が指定した、温泉利用の効果が十分期待され、かつ健全な温泉地として優れている地域のこと。

# 暮らしやすい青森！



青森県には意外と知られていない「暮らしやすさ」がたくさんあります。

例えば、全国で2番目に安く家を建てることのできるほか、家の広さも全国で4番目に広いので、都会に比べてのびのびとした生活を送ることができます。また、気軽に野球やサッカーが楽しめるような広い公園もたくさん！

ふだんは青森に住んで、のびのびと暮らし、たまに県外に遊びに行くという暮らし方も快適です。若い人たちに「県外で就職してもいつか戻ってこよう！」と思ってもらえるよう、「選ばれる青森」をめざしてこれからも本県の暮らしやすさをPRしていきます。

## データ

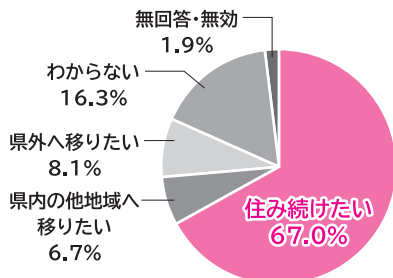
- ★住宅地が安い(住宅地の平均価格1㎡あたり) 東京都380,900円 青森県15,900円(※全国2位)(R3年)
- ★住宅が広い(専用住宅1人当たりの居住室の畳数) 東京都12.17畳 青森県16.57畳(※全国4位)(H30年度)
- ★公園が多い(都市公園等1人あたり面積) 首都圏平均約7.2㎡ 青森県18.3㎡(※全国8位)(令和元年度)

本県の暮らしやすさについて尋ねた「平成30年青森県民の意識に関する調査」によると、日常生活の中で、「新鮮で安全な食品が買えること」や「豊かな自然やきれいな水と空気が保たれていること」に満足している県民が多いようです。

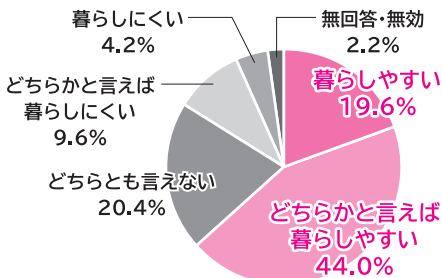
また、この調査では、県民の6割以上が青森県を「暮らしやすい」と感じていることや、7割以上が将来も青森県に「住み続けたい」と答えていることが分かりました。

## 平成30年青森県民の意識に関する調査

### 住んでいる地域への定住志向



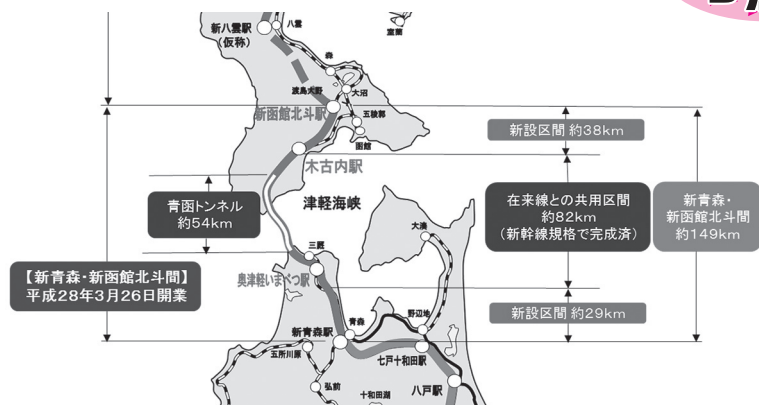
### お住まいの地域の暮らしやすさ



資料:県企画調整課



青森県の  
マイスター  
あらかると



さらに、仙台～新青森間では、これを超える360km/hでの営業運転を目標に、次世代新幹線(ALFA-X)の試験運転が行われています。このほかにも、鉄道には様々な「ピカイチ」がありますので、いくつか紹介しします。

JR東日本の車両E5系<sup>けい</sup>「はやぶさ」は、最高速度320km/hで日本一の高速新幹線車両(E5系・H5系<sup>けい</sup>)です。また、この車両は国内新幹線初となるファーストクラス座席<sup>ざせき</sup>「グランクラス」が導入<sup>どうにゅう</sup>されたことでも話題になりました。

東北新幹線は、全線開業後、東京～新青森間の営業キロが713.7kmとなり、  
在来線も含めた中で日本最長の路線に！これまでの山陰本線(営業キロ  
673.8km)に代わり、日本一になりました。

## 全長26.455km！世界一の複線陸上鉄道トンネル「八甲田トンネル」

「八甲田トンネル」は全長26.455kmと、上下線が通る複線トンネルでは世界一長い陸上鉄道トンネルです。青森県中央部の八甲田山系の北端に位置し、八戸駅から新青森駅までの距離(81.8km)の約3分の1を占めます。



## 橋脚間隔150m！日本一広い橋脚間隔の新幹線鉄道橋「三内丸山架道橋」



三内丸山遺跡に近い国道7号青森環状道路をまたぐ「三内丸山架道橋」は、橋長450mのエクストラドーズ橋。橋桁を支える橋脚と橋脚の間隔は最大で150mもあり、新幹線の鉄道橋で日本一広い間隔です。

## 全長53.85km！世界第2位の鉄道トンネル「青函トンネル」

津軽海峡の海面下240mの海底で北海道と結ばれる「青函トンネル」は、全長53.85kmで、鉄道トンネルの中では世界第2位の長さを誇ります。当時の日本の最新技術を駆使し、昭和63年(1988年)3月に開通しました。その技術は、英仏海峡トンネル(全長50.49km)でも活用されています。

また、年末年始、ゴールデンウィーク、お盆の時期において、青函トンネル内を走る新幹線の最高速度を160km/hから210km/hに引き上げて営業運転がされるなど、北海道新幹線の更なるスピードアップに向けた取組が進められています。



## イチおしミニあらかると 第3セクター鉄道「青い森鉄道」にもピカイチ！

東北新幹線の開業に伴い「R東日本から経営分離され誕生した「青い森鉄道」は、現在目時・青森間121.9kmを上下分離方式(※)で運営されており、日本一長い並行在来線です。

また、青い森鉄道野辺地駅には、日本最古の防雪林があります。

※青い森鉄道では、県が線路や駅舎等の施設(「下」の部分)を、第3セクター鉄道会社が電車(「上」の部分)を所有し運営する上下分離方式を第3セクター鉄道としては日本で初めて採用しました。